

#### 第四回運営委員会 合同委員会報告 第四回宿題委員会

六月十六日の第二回特別研究会終了後合同委員会を行なった。議題および討議内容は次の通りである。

##### 議 題

一、赤穂での今秋の村研大会に関する当番校よりの申出に関し次の諸点が諒承された。

地元研究者で赤穂塩業を研究して来られた広山堯道氏より特別報告の形で「塩業村落について」の御報告をいただく。

塩業資料館の参観を城山氏の案内で行うこと。尚日時については大会スケジュール検討の際に決定する。

一、地区別の研究会の要約をこれまで第三回研究会として行ない、さらに大会でも報告して来たが、重複のきらいがあるので、第三回研究会で地区別報告の要約ならびに問題点の整理をきちんと行ない、大会前通信に掲載して大会での報告は重ねてやらないこととした。

一、大会での課題報告者ならびにテーマについて、第三回研究会前に運営委員からのアンケートを行うこと。

一、長谷川宏二会員御逝去との事で、追悼文を君塚会員にお願いする。

##### 編集委員会よりの報告

安原委員より次の二点についての報告があった。

一、本年は自由投稿論文が八本あったが、委員から内容の水準を見

直す必要があるとの意見も出て、審査の結果二本が採用となった。一、御茶の水書房との契約は今年で切れることになるが、本屋の方から、21集以降も継続したい意志がある、ただし、①特集的形式はとれないか、②年報代を会費にセット出来ないかとの申出があった。検討の結果、①についてはサブタイトルをつけて中心内容を明らかにする。②については更に検討を要するので保留とすることにされた。尚自由投稿が2本にしぼられたことについて、出席の委員から多くの意見が出て議論が交された。